

しあかしゆく 議会だより

第249号

令和6年2月1日(2024年)



議員8名、明るい町づくりに尽力します

2024年 議会議員の抱負	2 p
令和5年第4回定例会, 第2回臨時会	3 p ~ 4 p
議案の審議結果	5 p
議会改革の動き	5 p
総務文教/産業建設常任委員会所管事務調査報告	6 p ~ 7 p
9月~11月までの議会・議長の動向	6 p ~ 7 p
6名の議員の一般質問	8 p ~ 13 p
クローズアップ ^{たかはし まさお} 高橋正雄さん・編集後記	14 p

2024年の抱負



市長 長 けん じ 治
議 原 けん 研
すが 管

主権者である住民の代
表として議会機能の充実
と情報の発信能力を高め、
与えられた職責に邁進し
ます。



議員 員 しげ 美 美
議 はし 橋 茂
たか 高

皆様の考えていること
を、実現できるよう尽力
します。



議員 員 とし 敏 夫
議 い が 五十 嵐
ら 五

町民の皆様の身近な問
題の提言や生活を守るこ
とを目指すため頑張りま
す。



議員 員 はし 子
議 たか 高 橋 きく 子
高

町民一人一人の皆様の
意見を聞き、町の活性化
につなげたい。



副議長 副 長 み き お 男
の 野 三 喜
こん 今

町民の幸福のため、議
員の責任を真剣に考え、
町の発展に努めて参りま
す。



議員 員 だ 修
議 よし 田 吉
お 修

平和な暮らしが一番。
町民の福祉向上と誇れる
まちづくりに尽力して参
ります。



議員 員 ひで 幸
議 なべ 部 英
わた 渡

常任委員会並びに特別
委員会の各委員会の要職
に努め、町民福祉の向上
と生活支援のため努力致
します。



議員 員 ひろ 之
議 たか 高 橋 浩 之
高

地域の方の声をしっか
り聴き、楽しく明るい町
づくりを目指します。

令和5年 第4回定例会

会期(12月6日～8日)

◆主な案件

- ・ 条例の改正
- ・ 条例の制定
- ・ 一般会計補正予算
- ・ 特別会計補正予算

◆条例の改正及び制定

◆七ヶ宿町国民保険税条例の一部改正

【提案の理由】

全世代型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、条例の一部を改正するもの。

◆七ヶ宿町地域担い手づくり支援住宅条例の一部改正

【提案の理由】

新築2棟を追加するとともに、家賃に関する規定を整理するため、条例の一部を改正するもの。

問 吉田 修 議員

今年度建設の担い手支援住宅の家賃が値上げされた理由は、

答 農林建設課長

建築資材の高騰に伴うもの。



▲担い手住宅

◆七ヶ宿町簡易水道事業及び七ヶ宿町下水道事業の設置等に関する条例の制定

◆七ヶ宿町簡易水道事業及び七ヶ宿町下水道事業の剰余金の処分等に関する条例の制定

◆七ヶ宿町簡易水道事業及び七ヶ宿町下水道事業に地方公営企業法の財務規定等を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例の制定

【提案の理由】

令和6年度からの簡易水道事業及び下水道事業の地方公営企業法の適用に伴い必要な事項を定めるため条例を制定する。

令和5年度
一般会計補正予算(第4号)
2800万円追加

主な歳入		主な歳出	
◆ 国庫負担金・補助金	2029万円	◆ 電力・ガス・食料品等 価格高騰緊急給付金	1568万円
◆ 財産収入	465万円	◆ 住基システム改修業務	385万円
◆ 諸収入	236万円		

問 五十嵐 敏夫 議員
国からの非課税世帯7万円の給付金は、いつまで、どのような方法にて行うのか。

答 町民税務課長
年内に、町に登録済みの公金受取口座に振り込む。

問 渡部 英幸 議員
木材チップ生産業務の債務負担の内訳は。

答 農林建設課長
年400万円の予算を計上していたが物価高騰もあり3か年で1500万を計上した。

特別会計補正予算	
◆ 国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	事業勘定 7700万円追加 直診勘定 900万円追加
◆ 簡易水道特別会計補正予算(第1号)	100万円追加
◆ 町営バス運行業務委託 債務負担行為 (令和6年度、令和8年度) 限度額 1億58万4千円	
◆ 公共下水道特別会計補正予算(第1号)	予算増減なし
◆ 介護保険特別会計補正予算(第2号)	100万円追加

議案の審議結果

【表の見方】 ○:賛成 ×:反対 欠:欠席 早:早退 議:議長 退:退席 除:除斥 投:投票 ※議長は採決に加わりません

会議名	議案番号	議案内容	議決月日	結果	議員名								掲載頁	
					1 高橋 浩之	2 高橋 きく子	3 渡部 英幸	4 五十嵐 敏夫	5 吉田 修	6 高橋 茂美	7 今野 三喜男	8 菅原 研治		
令和5年 第2回臨時会	第71号	町長等の諸給与の一部改正について	令和5年 11月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議	P4
	第72号	職員の給与に関する条例の一部改正について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
令和5年 第4回定例会	第73号	七ヶ宿町国民健康保険税条例の一部改正について	令和5年 12月8日	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	P3
	第74号	七ヶ宿町地域担い手づくり支援住宅条例の一部改正について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第75号	七ヶ宿町簡易水道事業及び七ヶ宿町下水道事業の設置等に関する条例の制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第76号	七ヶ宿町簡易水道事業及び七ヶ宿町下水道事業の剰余金の処分等に関する条例の制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第77号	七ヶ宿町簡易水道事業及び七ヶ宿町下水道事業に地方公営事業法の財産規定等を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第78号	令和5年度七ヶ宿町一般会計補正予算(第4号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	P4
	第79号	令和5年度七ヶ宿町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第80号	令和5年度七ヶ宿町簡易水道特別会計補正予算(第1号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第81号	令和5年度七ヶ宿町町営バス特別会計補正予算(第2号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第82号	令和5年度七ヶ宿町公共下水道特別会計補正予算(第1号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第83号	令和5年度七ヶ宿町介護保険特別会計補正予算(第2号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃



議会改革の動き

議会では、情報発信機能を強化し住民に開かれた議会を目指すため、様々な改革を行っています。最近の主な動きを一部紹介します。

議会の対応	主な目的
ノートパソコンやタブレット端末の活用	・ 諸会議情報の共有化や会議記録など情報管理の迅速化 ・ 町民への統一的な情報提供 ・ 広報委員会の編集作業や常任委員会の事務調査の効率化など
LINEの活用(グループ化)	・ 事務局のスピーディーな情報発信と移動先での情報共有化 ・ 常任委員会などの情報共有化

今後の課題(対応)

- ・ 通年議会制と議員間討議の導入
- ・ 常任委員会の活動検証と構成委員数の見直し
- ・ 議案書、会議資料等のPDF(データ保存)化
- ・ 議会のライブ配信など

令和5年 第2回臨時会
会期(11月27日)

◆ 条例の改正

- ◆ 町長等の諸給与条例の一部改正
- ◆ 職員の給与に関する条例の一部改正

◆ 議員発議

〔提案の理由〕
人事院勧告に伴う国家公務員の特別職の報酬並びに一般職員の給与に関する法律の一部改正に伴い、条例の一部を改正。

◆ 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
法律に準じ、議員の期末手当(ボーナス)を年0・1月アップするもの。

産業建設常任委員会所管事務調査報告(抜粋)

調査日：令和5年11月10日
 調査事項：令和5年度七ヶ宿町立保育所建設工事について

10月現在の工事出来高は25%で、基礎工事、ソーラー蓄熱式床暖房の電熱パネルの設置も完了し、上屋及び屋根のガルバリウム鋼板の設置施工中とのことであり、降雪もまじかに迫る中、11月中には鋼板施工が完了とのことでしたので、工程管理はしっかりなされていると思われました。

保育所の内部は床下地のCLTの張り付け作業中で、説明では「伝熱パネルの一部が故障しても蓄熱式なので問題ない」とのことでしたが、気になるのは伝熱パネルが故障した場合どのような対応をするのか疑問を感じたところです。

以前導入した、関・湯原小学校体育館の床暖房設備のような状態にならないことを切に願うところです。

以上、関保育所建設工事（中間状況）の所管事務調査報告と致します。

産業建設常任委員会委員長 渡部 英幸



▲教育委員会及び施工業者に説明を求めた

総務文教常任委員会所管事務調査報告(抜粋)

調査日：令和5年11月8日
 調査事項：「国民健康保険診療所の現状と課題」
 並びに「ひがし薬局七ヶ宿の運営状況」について

診療所の受診件数は、コロナ禍前の状況にほぼ戻っているが、近隣総合病院との連携状況は、公立刈田総合病院が若干減少しているほか、脳ドック検診などは、みやぎ県南中核病院への受診紹介になっているとの説明があり、新型コロナウイルス感染症患者の受診状況は徐々に減少し、令和5年10月期には感染者がいないとのことでした。また、「ひがし薬局七ヶ宿」の運営状況については、5月以降の利用状況が1日あたり平均21人で推移し、以前に比べ診療所以外からの処方箋の数が倍になっているとのことでしたが、薬局の経営状況は若干の赤字状況なので町からの経営安定支援金月額50万円の継続により、令和8年度からは赤字解消が見込まれるとの説明でした。

なお、現在職員からの診療体制などへの問題提起はないとのことでしたが、委員からは

- 1、診療所入口の自動ドア化
- 2、理学療法士の配置
- 3、安心できる妊娠・出産への対応

などの意見や要望がありましたので、医療体制づくりへの更なる努力を期待し所管事務調査報告と致します。

総務文教常任委員会委員長 五十嵐 敏夫



▲診療所と薬局の課題について調査

11月29・30日	11月27日	11月27日	11月27日	11月22日	11月22日	11月20日	11月16日	11月14日	11月13日	11月13日	11月10日	11月8日	10月31日	10月31日	10月30日	10月20日	10月19日	10月15日	10月12日	10月12日	10月12日	10月12日	
町村議会議長全国大会	広島県議会視察対応	議会運営委員会・全員協議会	第2回議会臨時会	議会全員協議会	福岡県東峰村議会視察研修対応	知事と正副議長との意見交換会	岩手県岩泉町議会視察研修対応	宮城県町村議長会正副会長会議	行財政研修会	全国過疎地域連盟総会	産業建設常任委員会所管事務調査	総務文教常任委員会所管事務調査	町学校音楽祭	仙南地域広域行政事務組合議会	七ヶ宿スキークラブ総会	仙南地域広域行政事務組合議会	議会広報特別委員会	ふるさと祭り・表彰式	議会広報特別委員会	議会報告会・懇談会実行委員会	公共事業入札・契約等特別委員会	議会改革検討特別委員会	
議長	議長	全議員	全議員	全議員	正副議長・外	正副議長	五十嵐	議長	副議長・外	議長	産建委員	総文委員	議長・外	議長・渡部	議長・渡部	議長・外	議長・外	議長・外	広報委員	全議員	全議員	全議員	全議員

10月10日	10月6日	10月5日	9月29日	9月19日	9月18日	9月15日	年月日
角田市議会正副議長就任あいさつ	議会広報特別委員会	仙南亘理地方町村議会議長会	議会広報特別委員会	高島町議会正副議長就任あいさつ	横山たかみつ後援会事務所開き	横山たかみつ県政報告会	会議・行事
正副議長	広報委員	議長	広報委員	正副議長	正副議長	議長	出席者



▲11月16日岩手県岩泉町議会視察研修の様子



▲11月22日福岡県東峰村議会のみなさんと

9月～11月までの
 議会・議長の動向



よしだ おさむ 議員

問 町内の圃場整備事業を今後どのような計画で進めるのか。又、新たな国、県の補助事業の見込みは。

答 現在、第3期の農地中間管理機構関連農地整備事業を行っており、土地改良は概ね終了したと捉えている。今後は生産性の向上、農地集積などの農地保全に努めたい。

問 農業の後継者不足は深刻である。高齢化や後継ぎがない等の理由で、特に水田の耕作放棄地が見受けられるが対応は。

答 耕作放棄地の取り組みとして、中山間地域直接支払交付金制度や多面的機能支払交付金制度の活用で、平成12年度から実施している。

問 耕作放棄されている農用地の現状を行政や農業委員会はどのような調査を行い把握しているのか。

答 現在、圃場整備により一定程度の耕作放棄地が解消されているが、耕作放棄地に関しては農業委員会が現地確認をしている。

問 農地所有者から農用地への対応についての聞き取りや相談など適切な対応をしているのか。

答 農地法等の制度を説明し、賃借権の設定を指導している。

問 農地の荒廃化は鳥獣被害拡大など地域環境へも影響を及ぼす。町内の環境維持保全にも政治的対応が必要ではないか。

答 農用地の荒廃化による有害鳥獣の被害が散見されるが、今後の農地被害や環境整備の必要性を注視していきたい。



▲耕作放棄地

問 千蒲地区では町外の子供さんが草刈りなどを行っている。負担軽減策として農振地区見直しも必要でないか。

答 農振見直しについては農地所有者、地区、農業委員会などの考えが有効で、合理的であれば農振除外も可能と考える。

問 耕作放棄地への対応は
答 国の交付金制度を活用している

問 これからの観光事業への対応は
答 観光関連事業者と協力していきたい

問 現在、七ヶ宿スキー場の指定管理の任期が1年半余りになったが、その後の運営はどうするのか。

答 新たな第3セクターが本町の観光や食堂小売店などの経営を行う。その中にスキー場の運営も取り組む考えがある。

問 指定管理の公募は行わずに新たな第3セクターがスキー場の運営を行うのか。



たかはし ひろゆき 議員

答 指定管理施設募集の仕事所との取り交わしのやり方がある。町民が分かりやすい様に進めていきたい。

問 スキー場の冬期間従業員は40名を超す人員が必要だが、従業員の確保具体的な考えは。

答 まちづくり株式会社の中で必要な場所に必要な人材が動ける体制を取りたい。



▲スキー場は交流と雇用の場

問 町内外より年間2万人を超す来場者がある。今後のスキー場に対する行政の考えは。

問 文化遺産の継承に行政対応が重要では

答 継承は必要だが人口減少対策を優先と考える

問 湯原地区の埋蔵文化財「おたて」は歴史的に見ても七ヶ宿町にとって非常に重要な埋蔵文化財だが、今後の行政の対応は。

答 平成29年12月に町指定の文化財とした。以前から様々な文献等が確認でき、これを後世に継承することは必要だが、現在は人口減少対策を最優先に継続していく事が重要と考えている。

問 七ヶ宿町の歴史に詳しい方や文化財保護委員の方々が高齢化していくなか、文化財に携わる人材の育成など早急な行政対応が必要と思われるが対応は。

答 七ヶ宿の歴史に詳しい方やその継承については、教育委員会を中心に伝えていくような手段を講じていきたい。



五十嵐 敏夫 議員

問 不登校の生徒数は。また、どのような対応策をとっているか。

答 不登校の児童生徒は3名、欠席がちな児童生徒が6名となっている。学校では、社会的自立や学校復帰に向け、全教員が家庭と連携して対応している。

問 不登校に対する学校の具体的対応は。

答 中学校では週2日、校内の会議室を開放し、別室登校ができる環境を整えている。学習面では、平日の午前中にオンラインによる学習支援などの対応を行っている。

問 *スクールソーシャルワーカーの対応状況は。

答 年15日、小中学校を巡回し、教職員や児童生徒、保護者との面談を通じて、アドバイスを受けている。

問 *スクールカウンセラーの対応状況は。

答 小学校で年20日、中学校で年33日、学校を訪問し児童生徒の状況把握や面談を行い対処している。

*スクールソーシャルワーカーとは
保護者や教員と協力しながら問題を環境面から解決する専門職
*スクールカウンセラーとは
児童生徒の問題に対して、心理面から解決する専門職

問 不登校は、小学校から中学校に進学するとき増加傾向とあるが、学校間の連携状況は。

答 小中学校の引継ぎは必ず年度末に行っている。小中学校の先生方の交流や校長教頭会は月1回開催している。

問 本町の不登校児童生徒の特徴は。

答 最近の様子では、時々学校に来る回数が増えている。また、行事には来るし、会えば話をし、職場体験にも参加している。ちょっとしたきっかけで復帰することは十分考えられる。

問 いじめ問題の内容と対応策は。

答 小学校で数件発生しているが、いずれも、冷やかしなどで、相手がいやがる言葉のものである。各学校では、生徒指導委員会開催や生活アンケートを月1回実施し、実態把握に努めるほか、専門職による「いじめ問題専門委員会」を開催し、一人一人に寄り添った支援・指導を行っている。

問 不登校といじめ問題の現状と対策は

答 学校と保護者及び専門職にて、解決への努力を進めて行く

問 七ヶ宿中学校校舎立て替えは

答 令和7年度に実施設計をできるか不明

問 七ヶ宿町過疎地域持続的発展計画に中学校校舎建て替えを行うとあるが、来年度に実施設計予算を盛り込み、令和7年度に立て替えを行うのか。

答 平成29年10月に小中一貫教育基本構想をとりまとめ、ハード面に関しては改めて検討するとしており、令和6年度に中学校校舎及び体育館の基本設計、令和7年度に中学校校舎立て替えの実設計の計画をしている。



高橋 茂美 議員



▲築45年経過の中学校校舎



▲授業風景

問 令和7年度に実施設計した後に、令和8年度に建設は可能なのか。

答 過疎計画にある年限にこだわることなく、令和7年度に実施設計が出来るか不明であり、答えは差し控える。

問 令和7年度に実施設計に入っても、完成するのは令和9年、10年にずれ込むという点か。

答 しっかりとした本町の方を定めて、同時並行的に財源の確保に当たらなければいけないので、その目的をつけて計画を進めたい。



渡部 英幸 議員

問 指定管理料が削減されている団体もあるが、

答 各団体から収支計画が提出され納得の上で決定している、町が一方的に削減はしていない。

問 統合する両社の末端の従業員に就労条件など十分説明したのか。

答 基本的には現状と変わらず、社員からは反対意見は出ていない。

問 統合後はどのような組織体制で運営していくのか。

答 組織を専務性とし、渉外課、総務課、事業課の3課制とし、その下に係長、主任を配置し事業運営する。

問 観光開発(株)とまちづくり(株)が統合すれば、年間の債務負担行為額(指定管理委託料)がまた増えるのでは。

答 観光開発(株)とまちづくり(株)が統合すれば、年間の債務負担行為額(指定管理委託料)がまた増えるのでは。



▲道の駅

答 新たな事業を取り入れる理由から債務負担行為の限度額が増える。赤字が発生したからといって指定管理委託料に反映されることはない。

問 そろそろ町の施設全体の縮小を本気で考える時期ではないか。

答 私の政策に納得できないければ、新しい指導者が町政運営を行っていくべき。



▲や・すまっしえ

問 財政調整基金が減っている。施設の必要性を見極め、町民の理解と協力を得ながら実行していく時期では。

答 新しい血を入れて、新しい町を作り、雇用の場や将来に残さなければならぬ施設を考えながら、町の活性化のスピードは落とさない形で進めていく。

問 観光開発(株)とまちづくり(株)の統合目的は

答 労働力の確保と新しい事業に挑戦できる仕組みを作る

問 幼児をあずかる保育所運営の考えは

答 環境を整えるため保育士確保に取り組む

問 令和5年度の関保育所職員体制は、所長、保育士5名、栄養士(兼務)1名、保育支援員3名の体制で示されていたが、現在の職員体制は。

答 現在、所長、保育士4名、栄養士(兼務)1名、保育支援員3名体制となっているが、保育支援員1名は保育士資格を有している、国の定める配置基準は満たしている。

問 令和5年4月の入所者見込みは3歳児未満12名、3歳児8名、4歳児7名、5歳児5名の合計32名となっていたが、現在の入所者数は。

答 令和5年4月現在の入所者数は29名で、その後、11月末までに3名の新規入所者と1名の退所者があり、現在は31名となっている。

問 保育所を利用している家族や保護者団体から、保育所運営に対する意見や直接的な要望などはあるのか。

答 保護者から保育職員数を少しでも増やしてほしいという意見を聞いている。



▲建設中の保育所

問 建設中の保育所は5億5千万円を超える予算となっているが、保育児童と直接に接する職員の対応が何より大切では。

答 本町面積の90%が山林の町なので、できるだけ子供たちが育つ環境のなかで、木のぬくもりや木の香りがする場が必要と考え進めているが、引き続き保育士の募集を行っていききたい。



▲保育所の完成は3月下旬を予定している

問 保育所職員の出入りが際立って多いように思われるが、幼児をあずかる保育所運営に対する考えは。

答 今回、建築を進めているが、建物だけが立派でも中身が整っていないならば保育所としての体をなさない。

現在、保育士1名に新規採用通知を出している、4月から来てくれることを願っている。
さらに第2次募集として、保育士、保健師、行政職員を若干名公募している。



高橋 きく子 議員

クローズアップ

温故知新。過去の歴史や文化財は地域づくりのキーワード

私は、現在、町文化財保護委員をしておりますが、以前は、七ヶ宿町水と歴史の館館長も務めさせて頂きました。水と歴史の館は先人が残してくれた文化財や歴史に関する資料などを収集、保管公開し、町民の文化の向上に資するため、学びの場、親しむ場、楽しむ場の社会教育施設です。一方で、町外に対して、七ヶ宿町の過去・現在・未来の情報を発信する教育や観光の施設でもあります。

七ヶ宿町には、湯原城跡（湯原）や聖観音像（関）など、5件の指定文化財があります。そして、約80ヶ所の埋蔵文化財（土地に埋蔵されている文化財）があり、その殆どが縄文時代の遺跡ですが、6ヶ所は湯原城跡などの城跡です。それ以外にも、町内には先人が築いた歴史遺産や文化遺産が数多く残されています。

長年、役場職員として、七ヶ宿町の歴史や文化財に関わる仕事に携わる事ができたことは、私にとつて大きな財産です。温故知新。過去の歴史や文化を学ぶことで、よりよいまちづくりの未来が開けて来ると常々考えています。国内では、先人が残した文化財遺産の保存活用は、地域の活性化やまちづくりに欠かせないアイテムとなっております。



これまでの得た知識や情報を生かし、町内小中学校などで歴史や文化財の講師を務める。現在は湯原区長として、積極的に地域づくりに取り組んでいる。

これまで得た知識や情報を生かし、小さくても持続可能なまちづくりに貢献したいと常日頃から考えています。そのためにも、今後も七ヶ宿町の歴史や文化財について調査研究し、未来に継承して行きたいと思っております。

高橋 正雄
たかはし まさお

湯原地区にお住まいの高橋正雄さんより投稿いただきました。

あなたも議会の傍聴してみませんか？

次回の議会は令和6年3月5日から18日の会期で、第1回定例会を開催予定です。
傍聴に関してのご質問は「七ヶ宿町議会事務局」までお気軽にお問合せ下さい。

編集後記

今年には雪のない穏やかな新年を迎えましたが、夕刻に能登半島で発生した地震被害は津波や大規模火災、幹線道などライフラインの寸断、犠牲者や安否不明者を含む多くの被災者など、日増しに全国民に衝撃を与えています。


我が町でも毎年防災訓練を実施し、議会でも「七ヶ宿町議会災害対策本部設置要綱」を設け防災訓練に参加していますが、町民の皆さんには改めて日頃から防災意識を願うところです。

（高橋きく子）

議会広報特別委員会

委員長	吉田 修
副委員長	高橋 浩之
委員	五十嵐 敏夫
委員	高橋 きく子

広報だより作成のため、お気軽にご意見・ご要望をお聞かせください。

 現在町のホームページからも議会の内容や議会だよりをご覧いただけます。

▷ 連絡先 七ヶ宿町議会事務局 ☎ 37-2197 FAX 37-2198

12月定例会の傍聴者は3名でした